

○新公立病院改革プランについて（地域医療構想関係部分抜粋）

名古屋市長緑市民病院	
<p>【地域医療構想を踏まえた役割】（P18）</p> <p>市立病院は、救急医療、小児・周産期医療、災害・感染症等発生時の医療など民間医療機関による提供が必ずしも十分でない政策的な医療に取り組むとともに、がん、心臓血管疾患、脳血管疾患など医療需要の高い疾患に対する高度・専門医療など各市立病院の特長を活かした医療を提供するなど、市民が安心して適切な医療を受けることができる地域の医療体制の構築に貢献していきます。</p> <p>緑市民病院は、平成 24 年度から指定管理者制度を導入しており、地域密着型の総合的な病院の役割を継続しながら、救急医療の充実等による医療サービスの向上などを図っていきます。</p> <p>市立病院における病床の医療機能としては、「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」の 4 つの医療機能うち、緑市民病院は「急性期」「回復期」を担っていきます。</p>	
<p>【再編・ネットワーク化】（P19）</p> <p>愛知県地域医療構想では、病床の機能分化と連携を進める必要があるとしていることから、愛知県における地域医療構想を実現するための施策の検討状況などを注視しながら、市立病院全体として、市民の医療ニーズに的確に応えることができるよう、適切な対応を検討していきます。</p> <p>＜経営形態の見直し＞</p> <p>平成 20 年度から地方公営企業法の規定の全部を適用して以降、これまで城西病院、緑市民病院及び守山市民病院の経営形態の見直しや、西部医療センター及び東部医療センターの再編・ネットワーク化を進め、現在に至っています。</p> <p>緑市民病院については、現在の指定管理者の指定期間が平成 33 年度までであることを踏まえ、本計画期間内において、緑市民病院周辺の医療ニーズや医療環境の状況などを把握し、総合的に勘案したうえで、平成 34 年度以降のあり方を検討していきます。</p>	

【数値目標について】（P38）

経営指標（参考）

区 分	28 年度 (見込み)	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
入院患者数（1 日平均）	161 人	170 人	207 人	210 人	212 人
病床利用率	53.7%	56.7%	69.0%	70.0%	70.7%
外来患者数（1 日平均）	260 人	270 人	270 人	270 人	270 人
救急搬送件数	1,100 件	1,320 件	1,320 件	1,320 件	1,320 件